

観覧についてのお願い

1 荷物の持ち込み

- (1) リュックサックや水筒は、バスに置いてきていただく（混雑日はぜひ）か、エントランスで職員が指示した場所に学校（学級）ごとにまとめて置くようにしてください。
- (2) 展示室内へは、学習に必要なもの（筆記用具・用紙・見学バック）以外は持ち込めません。筆記用具は、鉛筆かシャープペンシルを使ってください（ペン類は一切禁止です）。

2 安全やマナー

- (1) 転倒や落とし物にご注意ください。資料の保護や復元展示の関係で、館内がやや暗く、デコボコしている床もあります。
- (2) 走ったり大騒ぎしたりしないでください。他のお客様もいらっしゃいます。
- (3) 展示物を大事にしてください。
 - ・触れてよいものでも、壊さないように、やさしく丁寧に触れてください。もし展示物を破損してしまったら、担任を通じて職員にお申し出ください。触れてよいのか判断できないときには、近くの職員にお尋ねください。
 - ・ガラスケースの上でメモを取らないでください。
 - ・展示物を持ち帰らないでください。（繭、玉砂利、おもちゃなど）


○次のところへは、入らないでください。

- ・オープニング「木曾ヒノキ」・・・ 下草部分
- ・原 始「縄文のムラ」・・・ 「背景画」前の植栽部分
- ・中 世「善光寺門前」・・・ 川(手前と奥)の中、店のむしろの上、寺庵の縁の下
- ・近 世「農 家」・・・ 馬小屋、肥溜めの中
- ・近 現 代「製糸工場」・・・ 器械の中、玉砂利を敷いてある所


○次のところへは、履物を脱いでからお入りください。

- ・原 始「竪穴住居」・・・ 毛皮の敷物の上
- ・中 世「善光寺門前」・・・ 寺庵内の床面
- ・近 世「農 家」・・・ 居間のむしろ（ねこ）の上

○壊れやすいので、次の展示資料には触れないでください。

- ・ガラスケースおよび、ガラスケース仕切り内の展示資料
- ・原 始・・・ 「ナウマンゾウ」の牙、古代の武人
- ・中 世・・・ 善光寺の草 馬は手を触れてもよいが乗らない
- ・近 世・・・ 農家外の南天
- ・近 代・・・ 「製糸工場」の糸・繭・器械
製糸工女・教婦の服装・工女の食事
- ・  「手をふれない」マークのある展示資料

3 撮影

- (1)  常設展示室内では写真撮影ができますが、フラッシュ・三脚の使用はできません。ただし、縄文のムラ竪穴住居内と近世農家の中でのみ、フラッシュ撮影可です。
- (2) 企画展示室内は、原則として撮影できません。

- 4 館内での昼食 原則として館内ではとれません。雨の場合は、バスの中でとってください。徒歩や電車で来館の場合は、ご相談ください。

- 5 体調 体調が悪い等の場合は、職員にお申し出ください。